

オリックス生命におけるサステナビリティ



持続的な企業価値の向上と社会課題の解決の両立を目指します

サステナビリティの推進に向けて

「サステナビリティの考え方」

オリックス生命は、『想いを、心に響くカタチに。』との理念に基づき、「お客さまお一人おひとりの想いに共感し、心地よい距離感で寄り添う存在」となり、「永きにわたり社会と人びとの安心に貢献」していくことを目指しています。人生100年時代の到来に伴い、お客さまの生き方や価値観の多様化が進む中、人生におけるリスクの考え方もさまざまになってきています。大きな変化を迎えているこのときに、お客さまお一人おひとりの人生に寄り添い、生命保険会社として何ができるのかを考え抜き、具現化していくことは私たちの使命であり、持続可能な社会の実現に向けた取り組みでもあると考えています。

そこで、当社はこのようなサステナビリティの実現に向け、基本的な考え方を明文化した「サステナビリティ方針」を制定し、優先的に取り組むべき5つの「重要課題」を特定しました。この方針に基づき課題に取り組んでいくことで、将来世代が生きる地球環境・社会のサステナビリティの実現に貢献できると考えています。

今後も事業活動を通じて、当社の持続的な企業価値の向上と社会課題の解決の両立を目指してまいります。

サステナビリティ方針と重要課題

「サステナビリティ方針」

『オリックス生命理念』に基づいた行動によって、社会課題の解決に貢献するという、当社のサステナビリティに関する基本的な考え方です。

オリックス生命は、「オリックス生命理念」に基づき、
人生100年時代を生きるお客さまに寄り添い、
将来世代を含むすべての人々の安心に貢献し続けることで、
当社の持続的な企業価値の向上と社会課題の解決を目指します。

「重要課題」

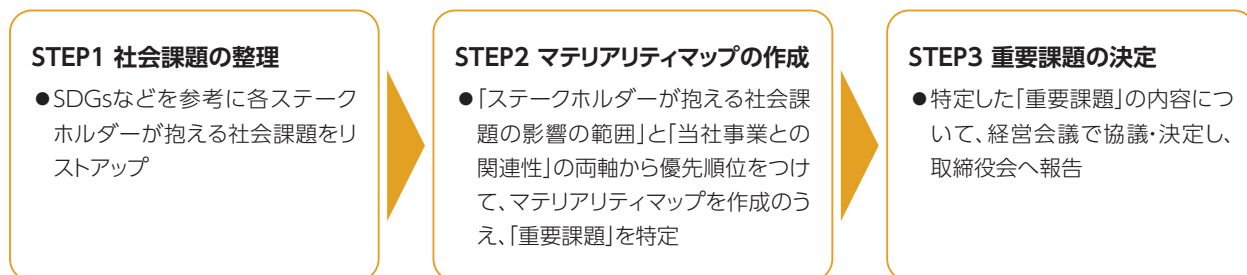
当社は、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献するべく、5つの「重要課題」に重点をおいて各種取り組みを進めてまいります。

当社における重要課題	重要課題への取り組み
人生100年時代を生きるあらゆる世代の人々に向けて保険事業を通じた「安心」の提供	(1) 「シンプルでわかりやすいこと」、「合理的な保障をお手頃な価格で提供すること」をコンセプトとして、人生100年時代を生きるあらゆる層が抱える社会課題の解決に資する商品・サービスを開発する (2) オムニチャネルの強みを活かして、お客さまのそれぞれのライフスタイルに応じたつながりの拡充を図り、最適な商品・サービスをご提供することで、社会のセーフティネットとしての保険サービスの普及を目指す (3) ご加入から保険金のお支払いまでのお客さま体験価値(CX)を重視した取組強化により、お客さま満足度の向上を目指す
機関投資家として責任投資の推進による持続可能な社会の実現	(1) ESGの観点を取り入れながら、リターンとインパクト*の両立を企図した投融資プロセスを実行する (2) 責任投資原則(PRI)の年次評価を踏まえた責任投資を推進する (3) 座礁資産として影響を受けるような投資先に対し、ダイベストメント等を通じたリスク管理を徹底する (4) 投融資ポートフォリオ全体でネット・ゼロ・エミッション達成を目指す

※投融資により生み出される環境や社会への好影響

当社における重要課題	重要課題への取組み
ビジネスパートナーとの 共存共栄関係の構築	(1) すべての取引先企業と健全な関係を維持する (2) 多様化するお客さまのニーズにお応えする商品・サービスを保険代理店へ提供する (3) 保険代理店経営の発展に資する支援や、代理店募集人育成のための継続的な教育を行う
社員一人ひとりが さまざまな状況に応じて 能力を最大限に発揮できる 環境の実現	(1) 社員の価値観の多様化や、子育て、介護などの家庭事情との両立ニーズを踏まえた働き方の選択を可能にするため、人事制度や環境整備を推進する (2) プロフェッショナル人材の確保・育成に向けて、管理職にならなくても専門性の向上を通じてキャリアアップを実現することが可能な人事制度を推進する (3) 職種、等級に求められる能力、スキルの習得に向けた教育体系を導入する
持続的な成長を支える コーポレートガバナンスの 強化	(1) 健全性の確保と収益性の向上に向けて、資本・リターン・リスクを適切にコントロールする (2) 適切なコンプライアンス態勢を構築し、誠実かつ公正で透明性の高い企業活動を遂行する

「重要課題の特定プロセス」



「SDGsへの貢献」

「重要課題」に重点を置いて取組むことで、SDGs達成への貢献にもつながると考えています。



社会貢献活動

「想いをカタチにプロジェクト」を開始 ～障がいや重い病気がある子どもたちの体験を応援～

障がいや重い病気がある子どもたちとそこそご家族の体験を応援する「想いをカタチにプロジェクト」を開始しました。

当社はこれまで生命保険事業を通じてお客さまの人生を支えることを使命としてきましたが、保険の枠組みだけでは十分に寄り添い切れない場面が存在します。生命保険事業の根幹である「人を支える」という視点をさらに広げ、保険の枠をこえた新たな支援のカタチとして、障がいや重い病気がある子どもたちとそこそご家族が「実現したい」と願う体験や、日頃なかなか叶えられない想いの実現を支援し、心に残る特別な体験につながることを目指しています。

オリックス生命理念『想いを、心に響くカタチに。』のもと、本プロジェクトを通じて、人生100年時代を生きる一人でも多くの方々が前向きに過ごせるよう、より良い未来の創造に取り組んでまいります。

資産運用におけるサステナビリティの考え方

生命保険会社の運用資産は、将来にわたる保険金・給付金等のお支払いを確実なものとするため、安定性・収益性・流動性に留意した運用が求められます。また、多くのお客さまからお預かりした資金を原資としていることから、国民経済や生活の向上に資する公共性にも十分配慮する必要があります。さらに、生命保険契約は長期にわたることから、長期的かつ安定的な運用収益を確保することが重要です。

当社は、こうした生命保険会社の資産運用の特性を踏まえ、PRI署名機関として責任投資原則(PRI)の考え方を踏まえるとともに、当社の『サステナビリティ方針』に基づき、資産運用に取り組んでいます。

具体的には、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の課題を考慮したESG投資を実施するとともに、日本版スチュワードシップ・コード受入れを表明した機関投資家として、投資先企業との建設的な対話(エンゲージメント)をはじめとするスチュワードシップ活動に取り組んでいます。

これらの取組みを通じて、中長期的な運用収益の確保と、持続可能な社会の実現への貢献の両立を目指します。

Signatory of:



資産運用を通じた主な取組み

手 法	概要・投資事例
インテグレーション	投資判断にあたり、投融資先企業等の財務情報のみならず、ESG等の非財務情報を考慮するもの
ネガティブスクリーニング	倫理的・社会的・環境的観点から、次の対象を債券投資・融資の対象から除外する ✓ 非人道的兵器(クラスター爆弾、対人地雷、生物兵器、化学兵器)の製造企業等 ✓ 石炭火力発電を主とするプロジェクト等 新たに今後の座礁資産として認識すべきものが発生していないかについて適宜見直しを行う
テーマ型投資	リスク・リターンを考慮したうえで、社会課題の解決につながる持続可能性に関するテーマを持った資産への投資を通じて持続可能な社会の実現に貢献するもの ✓ 持続可能な社会の実現に貢献する再生可能エネルギー資産等を投資対象としたファンド等 ✓ 気候変動や環境問題への対応、社会インフラの整備等にご貢献するグリーンボンド、サステナブルボンド等 ✓ グリーンビルディング認証等を取得している環境性能の高い物件等を保有するファンド等 ※写真はイメージです
インパクト投資	社会的・環境的にポジティブで測定可能なインパクトを生み出すことを目的とする投資
エンゲージメント	投資対象の持続的な価値向上のため、建設的な対話(エンゲージメント)を実施する ✓ 主要な投資先企業の重要な経営課題等について、定期的にモニタリングを実施する ✓ 上記のうち特に深刻な問題があると判断される企業についてエンゲージメントを実施する 必要に応じて、共通の課題認識に基づき他社と協働でエンゲージメント活動を行うことも含む